

組織現勢 (2月1日現在)

組合員数 19,341世帯
出資口数 88,385口
12・1月の新規加入 111世帯
12・1月の増資口数 1,272口

No. 357 再生紙を使用しています。

城南の保健

発行所 城南保健生活協同組合
本部事務局 大田区大森東4-6-15-101
TEL (3762) 0266
振込銀行 さわか信用金庫大森支店
口座(普) 0469459
発行 「城南の保健」編集委員会
毎月1回発行・定価1部 30円

早期発見・診断・治療に大きな威力を発揮！
大田病院に新しいCTを導入

待ち焦がれていた64列マルチスライスCT (GE社製 OPtima CT660FD) が



1970年代に開発されたシングルスライスCTは、X線ビームを照射するX線管球と1列の検出器から構成されてい

患者さんの冠状動脈病変診断に大きな威力を発揮します。

64列CTは、肺の微細な病変まで描出することができ、肺癌の早期発見につながり、肺気腫



大田病院 副院長 千田宏司 医師

その代表的な臓器が心臓で、64列CTでは、数秒の息止めに

また、膝、肘、股関節などの整形外科領域でも利用され、画像を立体的に構築できるので

この64列CTを駆使して、病変の早期発見、診断、治療に役

また、膝、肘、股関節などの整形外科領域でも利用され、画像を立体的に構築できるので

この64列CTを駆使して、病変の早期発見、診断、治療に役

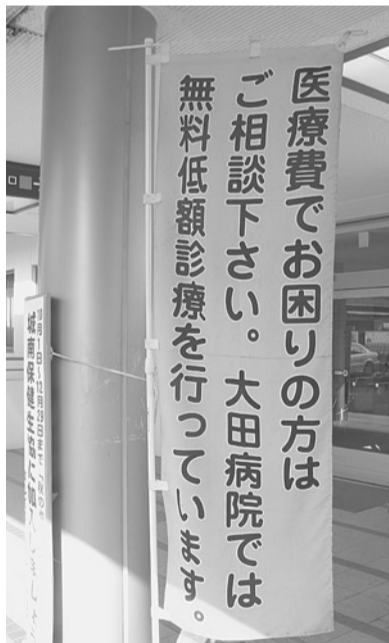
すすき野俳句会の作品から2年連続！
組合員の松川久男さんの俳句が金賞を受賞

組員の松川久男さんの俳句が金賞を受賞

1月19〜22日に品川区O美術館で行われた「品川区高齢者作品展俳句部門」に、すすき野俳句会(豊支部)から今年も4人の方が出品しました。

受賞作品
実が付かぬ 稲穂ばかりの 被災の田 久男
空澄みて そらろ歩きや 嫁姑 周子

君無しの 新たな年や 冬構 久江
寒橋の 響く路地裏 月赤し 敏行



医療費でお困りの方は
ご相談下さい。大田病院では
無料低額診療を行っています。
《法律相談実施日時間》
毎月第1水曜日13時〜15時
毎月第3土曜日10時〜12時

窓口負担のお支払い、ご無理はありませんか？

大森中診療所・大田病院・大田歯科では、無料低額診療を行っていますのでご相談ください

無料低額診療とは？

無料低額診療事業所として認定された事業所だけが対応できない制度です。

1951年に社会福祉法第2条第3項にもとづいて、経済的理由により適切な医療を受けられない方々に対して、安心してよい治療を受けていただくため、無料または低額で診療等を行う事業です。

お問合わせは各事業所の担当まで
大森中診療所・井口6404-2301/大田病院・404-2301/大田歯科・1(内線1471)/大田歯科・大川3762-0418

「よろず(なんでも)相談」やっています

月曜〜金曜の10時〜12時
大森中診療所1階
医療費の相談・生活相談・介護相談・相続... どのような相談でも受けられます！

法律相談も受けられます！

東京南部法律事務所の弁護士が2回相談に応じます。なお、法律相談については、できるだけ事前に電話予約をお願いします。(6404-2301大森中診療所まで)

春の健康バスハイク
水平線を見に行こう！

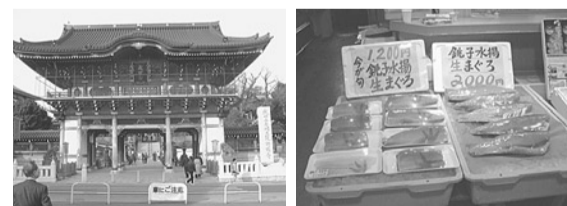


犬吠埼と成田山の旅

5月12日(日)
料金 大人 5,500円
こども 3,500円

- 魅力いっぱい
その1 滞つくしの宿で食事と美肌の湯
その2 灯台と水平線を眺めて海鮮買い出し
その3 成田山参拝と参道のお土産屋さんを楽しむ
犬吠埼灯台→ホテルニュー大新(昼食・入浴)→ウォッセ21(買い物)→成田山新勝寺

*詳しくは折り込みチラシをご覧ください



腹八分

概ね日本人は風呂好き。観光を兼ねた温泉めぐりは、国民の広い年齢層に根強い人気があります。自分の家に浴室が備わっていても、銭湯通いを楽しみにしている人は少なくありません。夏の暑い盛りには、汗ばんだ肌に新鮮な精気が戻ってきます。木枯らしの夜は風呂につかることで、いつまでもからだにぬくもりが保たれます。仲間どうしの交流も風呂屋で生まれ、ついには帰路連れだって赤ちやうちんで一杯。こんな光景もかつては一般的でした。住民に親しまれ、絆をつむいできた公衆浴場。いま大田区の浴場は51軒。それは区内の小学校の数にも及びません。単純に計算すると区民約1万2千人に1軒。いま住民の中で単身家庭が増えています。とりわけ、高齢者のひとり暮らしが増加の傾向を強めています。風呂の備わっていない古い集合住宅で生活する高齢者の方々は、浴場の利用に頭を痛めています。「風呂屋のそばに引越したい」「ゆうゆうくらぶの浴室も広くしてほしい」「入浴券を増やしてほしい」「浴場めぐりの循環バスを走らせてほしい」こんな切実な要求が、多くの高齢者から寄せられます。▼「自立・自助」の政府の側からの呼びかけは、高齢者や社会的な弱者に重くのしかかります。働く場所を失った高齢者病を得たり、障害を持つていたり働くことに制限を余儀なくされた人々。これらの方々に手を差し伸べるのが行政の使命です。「お風呂難民」の解決が、美しい国への入口になり、日本を取り戻す方向へ導きます。